

第3回神田警察通り周辺まちづくり検討部会 議事要旨

■日 時：令和2年10月23日（金）14：30～16：30

■会 場：神田スクエア3階会議室

■出席者：

〔委員〕

●●部会長、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

加島委員（まちづくり担当部長）、印出井委員（景観・都市計画課長）

谷田部委員（道路公園課長）、須貝委員（基盤整備計画担当課長）

神原委員（神田地域まちづくり担当課長）

〔オブザーバー〕

神保町出張所 武笠所長

神田公園出張所 猿渡所長

〔事務局〕

佐藤地域まちづくり課長、地域まちづくり課、UR都市機構

1. 開会

○事務局より資料確認

2. これまでの振り返りとまちづくり方針について

○事務局より説明

<意見交換>

意見なし

3. まちづくりの検討

○分野別のまちづくりの視点（前回（第2回）のまとめ 分野①～③）について
事務局より説明

<意見交換>

【委員】

- ・9年以上前から会議をやっているが、道路の整備は220mしか進んでいない。2期工事を早くやらないと後につながらない。内神田一丁目の再開発ですら2025年には竣工すると言われている。道路整備が遅い。

【まちづくり担当部長】

- ・歩道が狭いため、どうにかしようということから始まった。道路整備についてはガイドラインで設定させていただいたが、工事が進んでいないことについては申し訳ない。一方で、当時は東京電機大学がいなくなる課題もあった。現在、内神田一丁目はマンションが増加するなど状況が変わってきている。そういった地元の人々の意見をいただきながら、今後どういったまちにしていくべきかご意見賜りたい。

【景観・都市計画課長】

- ・資料5でも説明があったが、これからどんな歩行者空間、移動手段がでてくるのかについても、まちづくりの課題として検討していく必要がある。
- ・神田スクエアにおける様々な空間は、外で作業ができる場所、何人かでコミュニケーションができる場所、神輿蔵のように地域のアイデンティティに寄与する空間、それぞれが用意されていると思う。そういう空間の在りようみたいなものが、今後沿道の再開発等についての参考になると思う。そうした評価も含めてご意見をいただきたい。

【委員】

- ・早く道路整備を進めてほしいという気持ちもあるが、一方で協議会をやることでみなさんの見識が深まったように思う。
- ・神田スクエアについても私はとても評価している。裏通りにも配慮しているし、4面全てに顔を持っている。我々やデベロッパーの方たちも学び、良い方向にいつていると感じる。
- ・良い事例をもとに法整備していくのは行政の役目。建てるだけでなく、検証していきながら進めていけばもっと良くなっていくのではないかな。

【委員】

- ・以前、錦町は博報堂や電機大の城下町だった。この神田スクエアにも●●や●●が移転してきたと聞いているが、どこにも看板が掲げられていない。企業がこのまちにどれだけ責任を持てるかが大事で、入り口ですら名前を隠すような企業ならこのまちにはいらぬ。誇りをもってくれるような企業にきてほしい。

【委員】

- ・神田スクエアでこれだけまとまったオープンスペースが取られているのは評価できる。一方で、神田警察通り側にオープンスペースを取り過ぎてしまい、歩道から1階商業施設への距離が遠すぎるように感じる。通りから建物の中の賑わいが見えるようにすることも重要。低層部を工夫することで、既存の街並みと上手な付き合い方ができるのではないかな。

【事務局】

- ・人の流れと店舗との距離は重要だと感じている。外と内との連携が必要だと改

めて感じた。

【委員】

- ・再開発後は、1階は賃料が高くなるため、賑わいにつながるような昔から神田で商売している店は入れない。大手のスーパーなどになってしまう。

【部会長】

- ・これまでの検討の中ではコミュニティに関する話もあった。大手町などで働いていた人たちの多くがコロナ禍により在宅勤務をすることになっている現在、これまで見かけなかった人も近所に出かけているということもあると思う。

【委員】

- ・コロナでリモートワークしている人が多いはずなのに、なぜその方々たちは地域にあまに出でこないのだろうか。サミットによく行くが、知らない家族連ればかり。「神田でパンダ」という取り組みも、そういったリモートワークをしている人に気軽に地域に入ってもらうために始めた。ウィズコロナのコミュニティの作り方を考えていかなければならない。新しいマンション住民にコロナ後にどのようにまちに関わってもらおうか考えていく必要がある。

【部会長】

- ・スーパーや広場などで新住民との付き合いのきっかけを作っていくのは貴重な論点である。

【委員】

- ・サミットができたことで地域の交流がもてる側面がある。
- ・資料に「歩きたくなるまち」とあるが、現在の神田警察通りは喫煙による煙の問題などもあり、通りたくない場所になっている。「道路・交通」の中に環境面の充実についての論点も加えてほしい。

【部会長】

- ・喫煙所は、新たに整備されるところは屋内に喫煙所が完備されるが、既存のビルだと出てすぐのところや裏道に面する所に作るしかない状態。神田は喫煙所が多く、サラリーマンの休憩所みたいなところもあると思う。そういった喫煙所の在り方や使い方などを考えることも歩きたくなるまちの実現に向けて大事な論点となる。

【委員】

- ・まちづくり方針の策定に向けて、こういった会議が開かれていること自体を知ってもらうことも大事。策定する前にまちの人に知ってもらい、意見をもらうことが重要ではないか。
- ・歩いて楽しいまちとはどういう道なのか。まちの人からお話を聞けるのではないか。

【事務局】

- ・周知の仕方について、手法も含めて考える。

【景観・都市計画課長】

- ・先般、都市計画マスタープランのオープンハウスの際には、神田警察通りのガイドラインの資料も用意した。そういった工夫もしながら、アイデアや意見を取り込めるようにしたい。

【委員】

- ・コロナ以前からサテライト勤務の流れはすでに始まっていた。コロナだから見直そうというものではない。
- ・神田スクエアも外に開かれた感覚はなく、全部内向きだと感じている。どこの施設もそういった敷地完結型が多いため、なんとかしてほしい。
- ・オープンスペースや道路を活用するという話をしているが、特に神田警察通りについては、レストランだけでなく様々なお店の出店をサポートするような仕組みがあれば良いと思う。

【部会長】

- ・再開発で機能を高度化していくと内向きになってしまう傾向がある。どのようにまちとつないでいくのか、役割分担や連携の話もあると思う。
- ・ソフトな部分の活動支援をハード整備とどのようにつなげていくのかを方針の中に明記していくことが重要。

○分野別のまちづくりの検討について事務局より説明

<意見交換>

【景観・都市計画課長】

- ・都が把握している災害時の危険度としては、千代田区は圧倒的に安全。ただ、建物倒壊という点で見た際に、倒壊する建物、倒壊しない建物が混在することは、復興の際の課題になる。事前に復興のことについて考えていただきたい。
- ・千代田区はもともと在宅避難することになっている。しかし、電気が途絶えた時には生活ができなくなってしまう。その際には面的なエネルギーの供給が大事。この神田スクエアも災害時は周辺の建物へエネルギー供給することが出来るようになっている。災害に対する危機感についてご意見いただきたい。

【部会長】

- ・神田の下町文化を支えてきた建物を、老朽化の問題で今後どうしていくのか。景観の観点から守っていくのか、それとも更新していくのか、個別オーナーの問題でもあるがまちの問題でもある。

【委員】

- ・環境負荷の低減について、ウォークアブルも重要な要素。まとめる際には相互に関係していることを明記しておくなど配慮が必要。

【委員】

- ・建物を高くすることで風環境は悪くなる。歩行者に影響が及ばないように、高層ビルの周囲に防風植林として常緑樹を植えることが多いが、そういう広場は暗く季節感もない。どういう広場にしたいかを考える際には、建物の規模や配置なども考える必要がある。

【委員】

- ・地域資源として、既になくなってしまっているものもある。神田の発祥は鎌倉河岸。家康公がきた時にまちの構想を練ったのも内神田の宿と言われている。川沿いの再開発や内神田一丁目の再開発などで、そういった今見えないものが見える化していくことが重要。

【景観・都市計画課長】

- ・緑、水辺、広場については空間特性だけが語られているが、歴史的な沿革がある公共空間、川沿いのある空間をどういう手法で取り戻していくか。都市計画手法なども含めて議論し、進めることが大事。

【委員】

- ・さくら通りの煉瓦造りの建物の解体が、SNSでも話題になった。どうにか残せないかという運動も起きたが、地主は再開発のために壊すことにした。戦前の建物ですらこういった波に飲み込まれている。私自身も古い建物に住み、商売をしているが、周辺の建物は買われてしまった。固定資産税もどんどん上がっている。神田らしさをなくさないよう、皆さんで知恵を絞っていただきたい。

【部会長】

- ・経済の論理とどう整合させていくかが課題。周辺が開発されれば、それに伴って固定資産税も上がり、維持していくのは難しい。

【委員】

- ・開発に伴う利益を地域にどう反映するかという話になっていくと思う。エリアマネジメントなどを通して、どう利益を再分配していくのか、運営費をどう集めるのかということにも発展していく。BIDについても検討していったら良いのではないかな。

○まちづくり方針図（全体方針図）の検討について事務局より説明

【事務局】

- ・より具体的な検討を神田駅周辺エリア、錦町周辺エリアとエリアごとに分科会という形で話していきたいと考えている。
- ・第4回の部会までに数回分科会を開催したい。11月下旬、12月上旬ごろを予定している。開催に際しては事務局からお声がけする。

4. その他

○「神田でパンダ」について●●委員より説明

【委員】

- ・たくさんの方が神田に住んでいる。コロナ禍でお店も暇になって、神保町のお店も大半が潰れた。いいニュースを出そうということで「神田でパンダ」を始めた。皆さんのお力をお借りしたい。こういった民間でやっていることを行政は支援してほしい。

【委員】

- ・パンダのルーツは神田である。神田カレーグランプリ等も民間から出てきている。